

平成29年12月4日

## 平成29年度戦略的芸術文化創造推進事業「アートプロボノ促進事業」の実施

文化庁では、2020年に向けた取組の一環として、ビジネスパーソン等がアート領域において各人が持つ専門的なスキルを活かして行うボランティア活動を推進するため、以下のとおり、「アートプロボノ促進事業」を実施しますので、お知らせいたします。

### 1. 事業名

アートプロボノ促進事業

### 2. 主催

文化庁，一般社団法人芸術と創造

### 3. 趣旨・目的

2020年東京大会に向けて多様な主体による文化プログラムの実施やボランティアへの参画を促進するとともに、文化団体のマネジメント能力の一層の底上げを図っていくため、ビジネスパーソンや弁護士、会計士、税理士等の専門人材がアート領域（美術、演劇、音楽、舞踊、伝統芸能、大衆文化等）において、各人が持つ専門的なスキルを活かしたボランティア活動（アートプロボノ）に取り組む機運を醸成します。

### 4. 事業概要

「別紙1」参照

### 5. 今後のスケジュール等

#### (1) 公開セミナー「アートプロボノってなんだ？」

日時：2017年12月12日（火）19:30-21:30

場所：ワテラスコモンホール（東京都千代田区神田淡路町2-101）

※「別紙2」参照

#### (2) 対面型イベント「アートプロボノってどうやるの？」

日時：2018年1月20日（土）10:00-16:00

場所：ワテラスコモンホール（東京都千代田区神田淡路町2-101）

#### (3) その他

アートプロボノへの参加を検討している方への研修、アートプロボノの受け入れを検討している団体向けにガイドラインの策定などを実施する。

※詳細は一般社団法人芸術と創造ホームページ（<http://www.pac.asia/>）を参照ください。

### 6. 備考

- ・本事業は「平成29年度戦略的芸術文化創造推進事業」による文化庁委託事業です。

- ・「東京 2020 公認文化オリンピック」及び「beyond2020 プログラム」の認証を受けています。

**【担当】**

文化庁長官官房政策課文化プログラム推進室

担 当：高田，堀口，杉村

電 話：03-5253-4111（代表）（内線 3108）

F A X：03-6734-3811

## アートプロボノとは

- アート領域（美術、演劇、音楽、舞踊、伝統芸能、大衆文化等）において、各人が持つ専門的なスキルを活かして行うボランティア活動

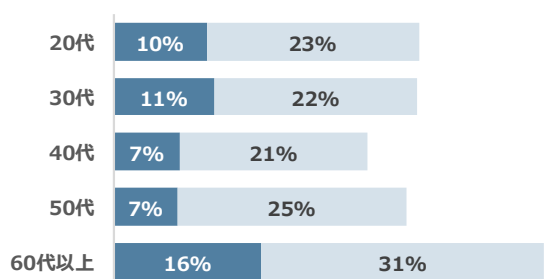
## なぜ文化庁がアートプロボノを推進するのか

- 文化庁では、2020年東京大会に向けて、多様な主体による文化プログラムの実施やボランティアへの参画を促進している。
- また、文化団体のマネジメント能力の一層の底上げも図っていく必要がある。
- 昨年度実施した文化庁「専門人材による文化団体における社会貢献活動調査」によりプロボノワーカー側や文化団体側の双方にアートプロボノへのニーズがあることも検証済み。

## 【プロボノワーカー】

- プロボノを行っている・今後行いたいと考えている方会社員・役員、定年退職者は3割を超える。
- 文化・芸術に係る活動を支援したいという割合が高い。

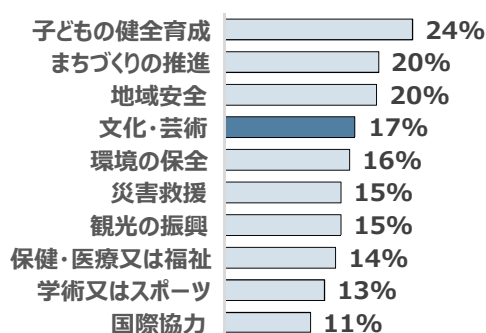
年代別プロボノ実施経験・実施意向



■ 経験したことがある ■ 経験したことがないが、今後経験してみたい

20代・30代、60代以上のニーズが高い

活動分野別プロボノ実施意向



全19の活動分野のなかで文化・芸術は4位

## 【文化団体】

- 経営基盤が脆弱であり、マネジメント能力の向上に向けた対策を行いたい。
- 社会との接点を持ちたい。客観的な視点を組織に持ち込みたい。
- 組織体力的に定常的には持ちづらい機能へのサポートが欲しい。  
(法務・会計、外国語会話・翻訳、ファンドレイジング・会員・顧客管理、調査設計・分析、人事・労務管理等)

## アートプロボノを促進するための課題と本事業での実施内容

## 課題①：

- そもそもプロボノの活動が文化団体に知られていない。
- プロボノワーカーや文化団体の双方が出会う機会・話す機会が乏しい。
  - アートプロボノ活動を周知する公開セミナーを実施（2017年12月12日開催）
  - 文化団体やアートに興味がある方に向けWeb媒体などで情報発信
  - プロボノワーカーや文化団体及びプロボノを促進する中間支援団体が一同に会し、それぞれが対話できるイベントを実施（2018年1月20日開催）

## 課題②：

- 文化団体側にプロボノワーカーが提供するサービス・情報漏洩の品質に不安がある。
- プロボノワーカー、文化団体ともにアートプロボノを行うにあたっての心構え・最低限の知識を身につけておきたい。
  - 上記イベントにおいて、文化団体向けに受け入れるべき専門人材についての考え方をレクチャー
  - アートプロボノの実践・受け入れを具体的に検討しているワーカー・団体向けの研修を実施
  - 双方が守るべきガイドラインを策定

## 課題③：

- 継続的にアートプロボノを浸透させるための仕組みづくりが必要
  - 成功事例の積み上げと、働き方改革、ダイバーシティ推進、イノベーション創出、CSR等に関心のある企業等への価値の普及



## セミナー

# アートプロボノって なんだ？

【日時】 2017年 12月 12日 (火) 19:30 ~ 21:30

【会場】 ワテラスコモンホール

事前申込制・参加費無料

## ◆ アートプロボノの可能性～2016年度文化庁プロボノ調査の結果～

綿江 彰禪（一般社団法人芸術と創造 代表理事）

## ◆ プロボノ促進支援組織の紹介

認定NPO法人 サービスグラント

NPO法人 二枚目の名刺

NPO法人 ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京

## ◆ アートプロボノ活用団体によるパネルトーク

パネリスト

堤 康彦（NPO法人 芸術家と子どもたち 理事長）

横山 利夫（新日本フィルハーモニー交響楽団 専務理事）

モデレーター

綿江 彰禪（一般社団法人 芸術と創造 代表理事）

【こんな方におすすめです】



- ・ プロボノ受入れに関心がある文化団体  
（アートプロジェクト運営団体、オーケストラ、劇団、制作会社、文化施設等）
- ・ 文化団体にてプロボノワーカーとして活動することに興味がある社会人
- ・ 働き方改革、ダイバーシティ推進、イノベーション創出、CSR 等に関心のある企業の方

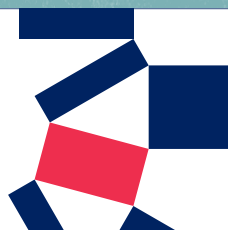


創芸  
造術  
Platform for  
Arts and Creativity



主催：文化庁、一般社団法人芸術と創造  
平成 29 年度戦略的芸術文化創造推進事業

文化  
オリンピック





アートプロボノとは「アート領域（美術、演劇、音楽、舞踊、伝統芸能、大衆文化等）において、各人が持つ専門的なスキルを活かして行うボランティア活動」です。文化庁では、2020年東京大会に向けて多様な主体による文化プログラムの実施やボランティアへの参画が求められているとともに、文化団体のより一層のマネジメント能力の底上げの必要性の観点からこの取組を推進しています。そもそも「アートプロボノとは何か?」、「各者にどのようなメリットがあるのか?」を知って頂くために本セミナーを開催致します。是非ともご参加くださいますようよろしくお願いします。

プロボノ促進支援組織・文化団体紹介



### 認定NPO法人 サービスグラント

2005年より、ビジネスの経験やスキルを活かしたプロボノを通じて、社会課題解決に取り組む団体の支援を行っている。3-6ヵ月間程度のまとまった期間をかけて非営利組織の基盤強化を支援する長期プログラム「サービスグラント」をはじめ、「ホームタウンプロボノ」「ふるさとプロボノ」「ママボノ」など、様々な社会のニーズに応えるプログラム運営し、2017年10月現在、3700名以上のプロボノワーカーが登録、これまでに580件以上のプロジェクトを実施している。



### NPO法人 二枚目の名刺

2009年に設立、NPO法人へのサポート事業や、企業・政府との連携による普及事業、ネットワーキングの促進等の活動を行っている。本業での1枚目の名刺を持つ社会人が、組織の枠を超えてもう1枚の名刺を持ち、NPO等の団体とともに社会を変える活動を行うことで、パートナーとなる団体や社会人自身、そして1枚目の名刺での企業に変化を起こすことを目指して活動を行っている。



### NPO法人 ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京 (SVP 東京)

2003年に設立、社会的な課題の解決に取り組む革新的な事業に対して、資金の提供と、パートナーによる経営支援を行っている。協働先であるソーシャルベンチャーのミッション達成に貢献すると同時に、パートナー自身が協働先の支援に参画しイノベーションに貢献することをその使命としている。資金提供は最大100万円、協働期間は最大2年間。2017年10月時点のパートナーは112名、これまでに44団体と協働を行っている。



芸術家と子どもたち  
CHILDREN MEET ARTISTS

### NPO法人 芸術家と子どもたち

1999年創立、2001年法人設立、ダンス・音楽・美術・演劇分野の現代アーティストと、子どもたちが会える「場づくり」を行っている。子どもたちは潜在的な力を存分に発揮しアーティストは表現を深める機会になることを目的として、子どもが居る場（小中学校、幼稚園、保育園、児童養護施設、障害児入所施設等）へアーティストを派遣しワークショップを実践する活動を主に展開。ワークショップを通じて子どもたちが主役のオリジナルの舞台作品を創作するパフォーマンススキップ・トーキョーは、アーツカウンシル東京と共同で主催し、今年10年目を迎える。



### 新日本フィルハーモニー交響楽団

1972年、指揮者・小澤征爾のもと楽員による自主運営のオーケストラとして創立。1997年よりすみだトリフォニーホールを活動の本拠地とし、日常の練習と公演を行うという日本初の本格的フランチイズを導入。2016年9月よりドイツの歌劇場で研鑽を積んだ指揮者・上岡敏之が音楽監督を務めている。定期演奏会、特別演奏会のほか、地元の学校や各種施設などにおける、地域に根ざした演奏活動、音楽指導なども精力的に展開中。

# アートプロボノって なんだ？



2017/12/12 [Tue] 19:30-21:30

## ワテラスコモンホール

東京都千代田区神田淡路町2丁目101番地



東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 徒歩約2分

JR「御茶ノ水」駅 徒歩約3分

東京メトロ丸ノ内線「淡路町」駅 徒歩約2分

### [参加申込]

一般社団法人 芸術と創造 ホームページ

<http://www.pac.asia/> より

お申込みください。



### [主催]

一般社団法人 芸術と創造

より広い視点から芸術や文化、創造産業をとりまく様々な環境の向上を目指すべく、アートプロデューサー、コンサルタント、キュレーター、公認会計士、弁護士などの専門性の高いメンバーにより設立された一般社団法人。各人が持つ知識や経験をベースに、文化施設、ギャラリー、NPO等の芸術や文化、創造産業をとりまく環境を多面的に捉え、課題の発見とその解決を活動の目的としている。



office@pac.asia

### 次回予告

2018年1月20日(土)に、ワテラスコモンホールにて文化庁アートプロボノ促進事業 vol.2 対面型イベントを開催。詳細は、決定次第芸術と創造ホームページにて告知します。